

文化の森のボランティアは、アート、イベント、学習支援、展示ガイド、伝承料理、生活体験と大きく六つに分かれています。このうち生活体験ボランティアは、70代、80代の人々が中心のボランティアです。主に、生活体験館で、昔の遊びや暮らしの体験を行う活動をしています。

昨年10月のまゆの家まつりでは、機織りや真綿作り、まゆ細工、お手玉遊びなどを通して、かつての農家の暮らしを伝えるとともに、市民の皆さんと触れ合うことができました。

この時期は、学校の学習活動で昔の道具を紹介。まゆの家で石臼を回しながら、子どもたちに話をします。子どもたちが回すとその重さにびっくり。同じ力で休みなく回す難しさを体験から知ります。今日も文化の森には、笑顔で熱心に活動するボランティアの姿があります。